

Ⅲ. 資 料 編

Ⅲ-1 シンポジウム来場者アンケート

Ⅲ-2 起業家交流会チラシ

Ⅲ-3 研究交流会チラシ

Ⅲ-1 シンポジウム来場者アンケート

参加者 121 人、アンケート回収枚数 105 枚

1 所属

	人数	%
一般	6	5.7
鈴鹿大学学生	99	94.3
学園関係者	0	0
その他（具体的に：）	0	0

2 性別

	人数	%
男性	70	66.7
女性	32	30.4
未記入	3	2.9

3 年代

	人数	%
20 歳以下	31	29.5
21～30 歳	61	58.1
31～40 歳	4	3.8
41～50 歳	3	2.9
51～60 歳	0	0
61 歳以上	2	1.9
未記入	4	3.8

4 お住まい

	人数	%	備考（ ）内は人数
鈴鹿市	40	38.1	その他内訳 津市 (27) 四日市市 (8) 松坂市 (4) いなべ市 (3) 亀山市 (3) 愛知県名古屋市 (2) 高浜市 (1) 桑名 市 (1) 伊勢市 (1) 一宮市 (1) 東員町 (1) 奈 良県五條市 (1)
その他	62	59.0	
未記入	3	2.9	

5 このシンポジウムは、どのように知りましたか（複数回答可）

	人数	%	備考
教員・大学関係者からの案内	95	90.4	その他内訳 ・職場にて ・チラシのイラストを頼まれて
ホームページ（具体的に：）	0	0	
ダイレクトメール	0	0	
新聞記事・ニュース（具体的に：）	1	0.1	
その他	4	3.8	
未記入	5	4.7	

6 参加した理由（複数回答可）

	人数	%	備考
学習の一環	84	74.3	その他内訳 ・仕事に関係する内容であったため ・シンポジウムについていろいろなことを知りたかったため ・発表をすることになっていたため ・就職活動に役立つかもしれないと思ったため ・就職に役立つため ・グローバル創業において若者の役割としてどうあるべきか学ぶため
起業に関心があった	14	12.4	
登壇者の話を聞きたかった	7	6.2	
その他（具体的に： ）	8	7.1	

7 このシンポジウムに参加してどうでしたか

	人数	%
とてもよかった	29	27.6
よかった	41	39.0
普通	16	15.2
あまりよくなかった	1	1.0
よくなかった	0	0
未記入	18	17.1

8 シンポジウムの感想

① 基調講演「グローバル創業の意義について」

[一般]

- 官民一体となつての取組。解決しなければならないと思う。

[鈴鹿大学学生]

- 日本だけでなく世界のことを考えていかなければいけないと思い、それには若者の力が必要だと感じた。
- ニーズや消費の対象の変化や、具体的な数字や数字の例などが分かりやすかった。
- 日本、世界、三重の現状や課題が分かった。
- 講演を聞いて、改めて地域にとって人の役割ということを考えさせられた。
- ビジネスは都会でしか展開できないと思っていたが、三重県でも展開できる可能性があることが分かった。
- これから社会に出て収入が入るようになった時の、お金の使い方も考えさせられた。

- 海外と比べて日本の成長が落ち込んでいるのが分かった。
- 海外と比べて日本国内での消費は落ち込んでいる現在、売れるものをニーズに合わせて作っていかなくてはいけないという言葉が印象に残った。
- 三重県の開業率が思ったより上の方で、東京が思っていたより下の方にあった。
- 普段自分が関わったりすることが少ないことだったので、知らないことを知ることができたことと、少しでも興味を持つことができてとてもいい経験になった。
- 留学生が多いこの大学でのグローバル創業という観点での取組は理に適っていると思った。
- 専門的で社会進出に役立つ授業が増えると、学生側も活気が出てくると思った。
- 地域からグローバルを目指すという考え方は面白いと思う。

② 鈴鹿大学学生によるビジネスプラン発表

[一般]

- 外から見た日本の良い所、意外な所が留学生の発表で良く分かった。
- 有意義なビジネスプランだと思った。
- 4分間の発表であるが、もう少し煮詰めて具体性があればよいと思った。

[鈴鹿大学学生]

- 様々な見方ができるのでおもしろいと思った。
- 地域の魅力も分かった上で、地域の課題を知り、人々が地域の問題を解決していくビジネスプランはいい。
- 自分と近い歳の人たちがさまざまなビジネスプランを考えているのはすごいと思った。
- 想像がつかないようなアイデアで、実現できるととても面白いビジネスプランだと思った。
- どのグループも短い時間で分かりやすくまとめて話していたので頭に入りやすかった。
- 資料無しの言葉だけのプレゼンテーションは内容が理解しづらい。
- プレゼンテーションの準備や予行演習が欠けていたのではないかと思う。目指す内容は良いが、訴える力量が弱く、感動できる内容ではなかった。

☆アップルウィンター

- クラウドファンディングでのビジネスは面白そうでアイデアで勝負できるのが良いと思った。
- クラウドファンディングも一般的に認識されつつあるので、いいアイデアだと思う。

☆SAD

- ゲームをクリアしたら単位を貰えるというプランがとても興味深かった。
- ゲームと教育を組み合わせるアイデアは自分では思いつかないことなので面白く興味を持った。

☆ゴ・ホアン・ガン

- 日本の物は中古でも質の良いものが多いので、必要としている人にそれを届けるという取組は素晴らしいと思う。日本の「もったいない」という言葉を大切にしてくれているようで嬉しい。
- 独自性がおもしろく、どうやって思いついたか等詳しく聞いてみたい。

③パネルディスカッション「三重県を元気にするグローバル創業とは」

[一般]

- 三重県の特徴、特産、観光を生かしたグローバル創業についてサポート体制が整備されていることが分かった。

[鈴鹿大学学生]

- 度胸、強い気持ち、相手に伝われば文法はなんでもいいという言葉に、かっこいいなと思った。
- 銀行がお金の取引だけではなく、このような取組をしていたのが分かってよかった。
- 色々なビジネス、その支援や現状を知ることができた。
- 常にプランニングをすること。売りと何をやりたいのかを明確にする重要性が分かった。
- 手塚さんの話を聞き、ますます営業の重要性が分かった。
- 周りの国の成功事例を知ること、ビジョンを明確にすることの重要性が学べた。
- 各氏独自の創業に向けての熱意ある力強い意見や実例、専門的な話を聞いて良かった。
- 百五銀行さんや松治郎のはちみつ屋は歴史が長く、三重県の方々に親しまれていると感じた。
- MULLERのバイクはMIEブランドとして誇らしいと思う。
- 私が住んでいる三重県で起業された企業のことを知るきっかけになり、興味が湧いた。
- 視野を広く持つことが大切だということが分かった。
- 自分のやりたいことを成し遂げるには、強い意志が必要だと感じた。
- 会社を作り出すような人は、普通の人よりいい意味で変わっている
- JETROの活動を初めて知った。話をされていた方は話が上手く、発想豊かで、自分も見習いたいと思う。
- 来年就職するので、社会人としての生き方の指標をつかむことができた。

9 起業やグローバルビジネスについて、ご意見があればお書きください。

[一般]

- 起業した人の講義は、今の若い人たちにとって参考になったと思う。

[鈴鹿大学学生]

- やるにあたってやりたいことが明確でないとぶれてしまうし、それに関する知識や人材

が必要だと感じた。

- すぐに起業しなくとも企業で学ぶこともよいということが分かった。
- 世界に出ていかなければいけないとはいうものの、自治会の人や年輩の人にはまず地域という姿勢が強くある。本当に世界に出るのがいいのか、もしそうならどう年輩の人達などを説得できるか。
- 起業に対して大変興味を持った。
- 三重に来る観光客に地域の魅力を知ってもらえるために工夫をしていく必要がある。
- 地域の特徴と外国人の消費者ニーズをしっかりと把握しておく必要があると思った。
- 起業には勇気がいるが、何かを変えないと、何も始まらないということが分かった。
- 世界における起業状況の指数をみて、日本が明らかに低いということが分かった。
- 手塚さんの話を聞いて、自分も将来起業したいと思った。
- 起業する方は素晴らしいと思うし、そこで成功する方はもっとすごいと思う。成功するか分からない中で自分の決めたことを貫き通すのが素晴らしいことだと感じた。
- 就職活動をする時に、自分を好きになれるようにできればと思った。
- 三重県が力を入れようと努力している産業や、起業家がどうあるべきかそのあり方について学べた。

10 その他、これからの三重県や鈴鹿大学に対するご要望など、自由にお書きください。

[一般]

- 記入なし

[鈴鹿大学学生]

- マナーなどではなく、今日のようなものをキャリアデザインの授業としてやってほしい。
- 参加型やアウトプットを重視した授業にしてほしい。(将来等を強制するようなものではなく)
- 県全体で魅力を見つめ直し、広報に力を入れてほしい。支援などの情報も多く発信してほしい。
- 広報を頑張ることによって、変わることはたくさんあると思う。
- 三重県では外国人を採用する企業が少なく、留学生の就職が難しいので、留学生にチャンスを与えてほしい。
- 鈴鹿大学には留学生が多く、彼らは卒業後に就職を目指して来ているようです。この創業を目指して活動することは、彼らにとっても、大学の生徒募集にも利点であると思う。事業に繋がることが三重県の発展に繋がる。
- もっと起業家の話を聞きたい。
- 留学生が地元の企業等を見学できる活動を組織化していきたい。
- もうすぐ就職活動が始まる学生として、三重県内で留学生を受け入れてくれる企業などの情報を知りたい。
- このような活動を行っていくことは大学にとっても大きな意味がある。大学が地域活性

化の力になれると思う。

- 人を外見で判断しないことという言葉は大切だと思った。
- 大学内では教員と学生が連携した取組が無いので、協力できる体制を考えたい。
- 鈴鹿大学から多くの起業家を生み出すことで、三重県をもっと活性化してほしい。
- これからも地域と協力したイベントを大学には開催してほしいと思うし、自分も積極的に参加したい。
- この大学は魅力があるが、伝わっていないと思うので、県外の大学にも負けない誇れるものがあるとアピールできればよいと思った。
- こういった授業をもっと設けてほしい。
- こういったシンポジウムをもっと多くの大学で開催してみてもどうか。
- 今までも鈴鹿大学は三重県のために色々な活動をしているので、これからも今以上に多く貢献してほしい。
- このような場で私語の多い学生は追い出したほうがいい。
- 鈴鹿大学は現在留学生が多く、卒業後は日本の企業に就職したいと考えている。そういった背景から大学と企業が連携しながら取り組めることがあるのではないかと思う。
- 学生が生のビジネスに取り組めるような授業があればいい。

Ⅲ-2 起業家交流会開催チラシ

鈴鹿大学ビジネスイノベーション研究センター 研究会

シリーズ：起業家の事例に学ぶ① 女性起業家 ゲミュートリヒ珈琲株式会社 小野真由美さん



【小野真由美さん略歴】

ゲミュートリヒ珈琲（株）代表取締役。
離婚をきっかけに自立・起業を意識。平成
16年より珈琲豆専門店にて修行を積み、
平成20年に起業（平成22年に法人成り）。
顧客一人ひとりの好みに合わせたブレンド
や焙煎が特徴。喫茶店向けの卸売のほか、
著名人や道の駅のオリジナル珈琲のプロデ
ュースも行っている（びわ湖放送アナウン
サー牧田もりかつ氏「熱血実況中継コーヒ
ー」、草津道の駅「青花コーヒー」など）。
稼業の傍ら、滋賀県販売士協会会員とし
て資格系アイドル「販売士ママドル」の活
動も行っている。愛称は「まみマダム」。

■日時：平成28年4月14日（木）

14：40～16：10

■会場：鈴鹿大学 第2会議室

■特典：珈琲の試飲あり（無料）

■その他：鈴鹿大学・演習Ⅰ（高見ゼミ）との
合同企画となります。



★鈴鹿大学ビジネスイノベーション研究センターとは

三重県の持続的発展のために、①起業家の養成と起業マインドをもった人材
の育成、②起業に興味をもった入学生の確保、③県内起業、企業就職の支援、
の3つを目的に、本学に整備された研究センターです。

（平成27年度三重県高等教育機関魅力向上支援補助金採択）

鈴鹿大学ビジネスイノベーション研究センター 研究会

シリーズ：起業家の事例に学ぶ② 老舗研究起業家

株式会社センチュリークリエイティブ 林勇作さん



【林勇作さん略歴】

(株)センチュリークリエイティブ代表取締役。京都の老舗会計事務所に勤務し、財務・組織・人事改革コンサルティング実績を積んだ後、2013年より独立開業。京都老舗企業の研究を通じ、企業継続の秘訣を中小企業の経営者・後継者に提供しており、性別、国籍を問わず起業家を支援する「グローバル起業塾」も行っている。

「京都100年企業研究会」や「老舗訪問ツアー」を企画運営しているほか、現在、京都の老舗と中国セレブ層とのビジネスマッチングを進めている。著書『京都100年企業に学ぶ商いのイロハ』（コミュニケ出版・2014年）は全国図書館選定図書に選ばれるなど、京都の各大手書店にて話題となる。

■日時：平成28年6月9日（木）

14:40～16:10

■会場：鈴鹿大学 第1会議室

■その他：鈴鹿大学・演習Ⅰ（高見ゼミ）

との合同企画となります。



★鈴鹿大学ビジネスイノベーション研究センターとは

三重県の持続的発展のために、①起業家の養成と起業マインドをもった人材の育成、②起業に興味をもった入学生の確保、③県内起業、企業就職の支援、の3つを目的に、本学に整備された研究センターです。

（平成27年度三重県高等教育機関魅力向上支援補助金採択）

鈴鹿大学ビジネスイノベーション研究センター 研究会

シリーズ：起業家の事例に学ぶ③ ファッション起業家

株式会社 kite d'or 高橋佐和子さん



【高橋佐和子さん略歴】

株式会社キトドール代表取締役。

大学卒業後、16年間高級専門品を取り扱うアパレル企業に勤務。店舗運営、人材育成、商品開発、営業企画、MD・バイヤー業務など小売業の実務に携わる。

2012年に独立し、大阪府豊中市内に、大人の女性をターゲットとしたセレクトショップ「clothes closet」を開業。2013年には大阪府緊急雇用創出事業を受託。ハンドスバ、ネイルの自社店舗「rao akua(現在は Bijou&Nail CARAT)」を立ち上げ、就労困難な女性

性の雇用を創出したほか、高齢者施設への訪問販売などの実験的な取り組みにも果敢に挑戦している。

2015年、大阪市北区梅田にセレクトショップ2店舗目をOPEN。『毎日をちょっと楽しくする』をテーマに、女性向け小売・美容ケアのワンストップサービスを構築中。

■日時：平成28年7月7日(木)

14:40~16:10

■会場：鈴鹿大学 第1会議室

■その他：鈴鹿大学・演習Ⅰ(高見ゼミ)

との合同企画となります。



★鈴鹿大学ビジネスイノベーション研究センターとは

三重県の持続的発展のために、①起業家の養成と起業マインドをもった人材の育成、②起業に興味をもった入学生の確保、③県内起業、企業就職の支援、の3つを目的に、本学に整備された研究センターです。

(平成27年度三重県高等教育機関魅力向上支援補助金採択)

Ⅲ-3 研究交流会チラシ



鈴鹿大学・ビジネスイノベーション研究センター 観光まちづくり研究交流会
 (学びのイノベーション「地域ネットワークを活かした「起業力」醸成のための
 教育プログラムの開発」事業報告)

「地方創生とこれからの観光まちづくり」

日時：2016（平成28）年8月3日（水）15：00～17：00
 会場：鈴鹿大学 A201 教室

<プログラム>

15：00～15：10 開会の挨拶

15：10～15：40 「インバウンドによる地域のまちづくり」
 郭 育仁氏
 (鈴鹿大学・国際人間科学部／国際学研究科・講師
 ／ビジネスイノベーション研究センター研究員)

15：40～15：50 フリーディスカッション
 (10分休憩)

16：00～16：30 「徳島県における地元住民を主体としたまちづくりの諸相」
 磯野 巧氏
 (三重大学・教育学部社会科教育コース
 ／教育学研究科人文・社会系教育領域・講師)

16：30～17：00 フリーディスカッションおよび総括

17：00 閉会の挨拶

終了後、古民家カフェ「笹の葉」で懇親会を予定しております。(会費：実費ご負担)

○研究会への参加費：「無料」でご参加いただけます。

○参加をご希望される方は、
 下記のアドレスへご連絡ください。

村瀬 慶紀（鈴鹿大学・国際人間科学部講師）
 Tel: 059-372-3981 (研究室直通)
 E-mail: murasey@m.suzuka-iu.ac.jp



鈴鹿大学・ビジネスイノベーション研究センター 地域ビジネス研究交流会
(学びのイノベーション「地域ネットワークを活かした「起業力」醸成のための
教育プログラムの開発」事業報告)

「地域ビジネスにおける企業家育成への課題」

日時：2016（平成28）年12月7日（水）15：00～17：00
会場：鈴鹿大学B102 教室

<プログラム>

- 15：00～15：10 開会の挨拶
- 15：10～15：40 「地域で企画する。どんな事も成功させるコミュニティの
作り方」
織田 拓氏
(美杉町上多気地区奥立川自治会長)
- (10分休憩 15：40～15：50)
- 15：50～16：20 「ベンチャー企業の資金調達と投資」
藤井 辰朗氏
(中部大学経営情報学部・講師)
- 16：20～17：00 フリーディスカッションおよび総括
- 17：00 閉会の挨拶

○研究会への参加費：「無料」でご参加いただけます。

○参加をご希望される方は、
下記のアドレスへご連絡ください。

村瀬 慶紀（鈴鹿大学・国際人間科学部講師）
Tel: 059-372-3981（研究室直通）
E-mail: murasey@m.suzuka-iu.ac.jp



鈴鹿大学ビジネス・イノベーション研究センター

平成 28 年度 報告書

報告書作成・編集

中谷恵子 酒井友紀子 高見啓一 渡邊聡

発行年月日

平成 29 年 3 月 24 日

制作

鈴鹿大学ビジネス・イノベーション研究センター

発行

学校法人享栄学園 鈴鹿大学